

藍住町 議会だより

第100号

2020(令和2)年2月25日



～祝 令和初の成人式～

12月定例会

議会だより100号の歩み	P. 3
令和元年度藍住町一般会計補正予算～	P. 5
一般質問 ～町政のここが聞きたい～ ...	P. 6-10
わたしの一言	P. 12

議長挨拶



議長 森 彪

議長 森 彪

藍住町議会だよりが、今号で記念すべき100号の発刊を迎えることとなり、誠に光栄に存じます。私たちが議会は住民の代表として住民全体の立場に立ち、予算の執行が正しく行われているか、監視・批判する機関としての役割があります。そして、議会としての権威を守るためにも執行者と議会は一定の距離を保ち、町民の福祉向上、命と財産を守り、私利私欲ではなく、町の発展に尽くすべきであります。

また、2019年は、台風19号が伊豆半島に上陸し、関東を縦断して首都圏を直撃しました。気象庁は最大級の警戒や避難を求めましたが、各地で大規模な被害が出ました。このような自然災害に対しましては、日頃からの備えのほか、災害に強いまちづくりに向けて町議会としても全力で取組を進めてまいります。

議会が掲げている問題に最後まで尽くし、任期を全うすることに御協力をお願いいたします。

議会のうごき

11月

- 3日 各種功労者表彰
・藍住町総合文化ホール開館記念式典
福祉・健康づくりの町フェスティバル
西部スポーツゲーム大会
・藍住町戦没者追悼式
- 9日 議会だより編集委員会
99号の校正について
- 10日 議会運営委員会
第4回議会臨時会の日程等について
- 11日 町村議会議長会全国大会・視察研修(東京都) P.11
- 13日 令和元年第4回臨時会 P.5
- 15日 藍住町総合文化ホール特別委員会
・藍住町総合文化ホール建設にかかる事務の調査の件について
- 16日 藍住町身体障がい者ふれあい大会
- 18日 議会だより編集委員会
99号の校正について
- 21日 郡町議会議長会定例会
- 22日 藍住町総合文化ホール特別委員会
・藍住町総合文化ホール建設にかかる事務の調査の件について
- 25日 議会全員協議会
令和元年第5回臨時会 P.5
- 27日 議会運営委員会
第4回定例会の日程等について
- 28日 子ども子育て会議
- 29日 郡町議会議員研修会(上板町) P.11
- 特別委員会

12月

- 2日 藍住町総合文化ホール特別委員会
・藍住町総合文化ホール建設にかかる事務の調査の件について
- 3日 藍住町総合文化ホール特別委員会
・藍住町総合文化ホール建設にかかる事務の調査の件について
- 4日 12月議会定例会開会
- 5日 藍住町総合文化ホール特別委員会
・藍住町総合文化ホール建設にかかる事務の調査の件について
- 12日 12月議会定例会一般質問 P.6、P.10
- 17日 藍住町総合文化ホール特別委員会
・藍住町総合文化ホール建設にかかる事務の調査の件について
- 19日 藍野西部青少年補導センター組合議会(板野町)
・条例可決にかかる諸問題の特別委員会
決議案について
- 23日 藍住町総合文化ホール特別委員会
証人喚問について
- 24日 12月議会定例会閉会
令和元年第6回臨時会 P.5

1月

- 26日 証人喚問について
板野東部消防組合議会臨時会(北島町)
- 30日 証人喚問について
- 31日 議会だより編集委員会
100号の校正について
- 20日 藍住町総合文化ホール特別委員会
証人喚問について
- 24日 議会だより編集委員会
100号の校正について
- 30日 新潟県議会議員行政視察
- 31日 藍住町総合文化ホール特別委員会
事情聴取について
- 12日 消防出初め式(北島町)
- 14日 藍住町成人式



消防出初め式

議会だより 100号の歩み

●創刊号●



1995(平成7)年5月25日発行

1995(平成7)年5月25日発行の創刊号から25年、藍住町議会だよりは今回で第100号を迎えました。

創刊号は、一般質問を中心に当時の議会の構成や審議結果などが掲載されており、旧藍住町議会議事堂での議会風景が表紙を飾っています。

創刊以来、地方自治の重要性を鑑み、町の諸施策の審議内容や議会運営など町政全般についての記事を中立・公平に取扱い、読みやすく、親しみやすい「議会だより」にすべく編集してまいりました。

第100号をひとつの通過点として、今後とも議会活動に関心をもっていただけるよう、よりよい紙面づくりを心がけていきたいと思っておりますので、御協力をお願い申し上げます。

藍住町議会だより編集委員会

●第10号●



1997(平成9)年8月25日発行
・藍住町合同庁舎完成

●第20号●



2000(平成12)年2月25日発行
・藍住町こども議会開催

●第30号●



2002(平成14)年8月25日発行
・藍住町東中富桜づつみ公園開園

●第40号●



2005(平成17)年2月25日発行
・町制施行50周年

●第50号●



2007(平成19)年8月25日発行
・議員定数を20人から16人へ削減

●第60号●



2010(平成22)年2月25日発行
・第3子以降就学前児童の保育料・授業料無料化

●第70号●



2012(平成24)年8月25日発行
・藍住町議会議員選挙

●第80号●



2015(平成27)年2月25日発行
・町マスコットキャラクター「あいのすけ」御披露目

●第90号●



2017(平成29)年8月25日発行
・人口3万5,000人を突破

12月議会定例会が12月4日から19日までの16日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。
一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

12月定例会

～議員提案～

- 藍住町副町長の定数を定める条例の一部を改正することについて …… 可 決
副町長の定数を2人から1人に改める改正
- 藍住町議会議長の不信任決議の動議 …… 否 決

請 願 ・ 意 見 書 ・ 陳 情

3件の請願があり、賛成多数で採択されました。

● 生活保護基準引き下げ中止を求める請願書

請 願 者 徳島県生活と健康を守る会連合会 会長 井出 幸夫
紹介議員 西岡 恵子

「生活保護基準引き下げ中止を求める意見書」を提出

提 出 先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

(概要) 生活保護基準が2018年10月1日から連続で引き下げられ、2020年も引き下げられる予定である。生活保護費も、2013年に戦後最大規模の引き下げが行われ、2015年まで連続で削減されている。生活保護基準の引き下げは、生活保護利用者だけの問題ではない。住民税の非課税基準など国の47制度と連動して、影響を及ぼす。このように社会の土台が沈んでしまえば、国全体が沈んでしまう。

● 国民健康保険税を協会けんぽ並みに引き下げる改善を求める請願書

請 願 者 徳島県生活と健康を守る会連合会 会長 井出 幸夫
紹介議員 小川 幸英

「国民健康保険税を協会けんぽ並みに引き下げる改善を求める意見書」を提出

提 出 先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

(概要) 国保は低所得者が多数加入しているが、1人当たりの保険料は、協会けんぽの1.3倍、組合健保の1.7倍に上る。国保税には、家族人数に応じて負担が増える「均等割」があり、子育て世帯などでは、国保と協会けんぽの保険料の格差は2倍に広がる。こうした問題の解決のため、地方団体は、「1兆円の公費投入」など、国の財政支援により国保税を協会けんぽの保険料並みに引き下げることを求めている。高すぎる国保税を引き下げ、格差を解消することは、国民のくらしと健康を守り、国保制度の健全な運営と医療保険制度安定のためにも不可欠である。

● 「マクロ経済スライド」を廃止し、最低保障年金制度の創設を求める意見書の採択に関する請願書

請 願 者 全日本年金者組合徳島県本部 委員長 井上 尚
紹介議員 林 茂

「マクロ経済スライド」を廃止し、最低保障年金制度の創設を求める意見書」を提出

提 出 先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

(概要) 「公的年金だけでは老後の資金が2,000万円足りない」と記述した金融庁審議会の報告書は、多くの国民に衝撃を与えた。「人生100年時代」などといわれる昨今、年金水準が減り続ける年金改定の仕組みは、長寿社会の土台を揺るがしかねない。また、地方創生においても、地域経済や地方財政に及ぼすマイナス影響がつよく懸念されるところである。今こそ、「減らない年金、安心の年金」をつくる必要がある。そのためには、マクロ経済スライド制度を直ちに廃止し、「減らない年金」にするとともに、若い人も高齢者も安心できる抜本的な年金制度の改革を強く求めるものである。

1件の陳情があり、議員に配布しました。

● 電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い

陳 情 者 一般社団法人 徳島県設備業協会 会長 石川 雅一

～町長提案～

- 令和元年度藍住町一般会計補正予算 可 決
- 藍住町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 可 決
- 藍住町上水道事業給水条例の一部改正 可 決
- 藍住町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定 可 決
- 藍住町下水道事業の設置等に関する条例の制定 可 決
- 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定 可 決
- 藍住町教育委員会委員任命の同意 安芸 隼氏

令和元年度藍住町一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

9,500万円増額

予算総額

114億3,200万円

～主な補正内容(1万円未満四捨五入)～

民生費

◆障害者福祉サービス給付費 3,628万円

教育費

◆幼稚園の子育てのための利用給付費等 1,206万円

令和元年第4回臨時会

11月15日開催の臨時会において次の議案が上程され、可決しました。

- 条例可決にかかる諸問題の特別委員会設置 可 決
 - 藍住町総合文化ホール建設にかかる事務の調査に関する決議 可 決
- 随意契約を含めたごみ処理の経緯及び建設についての状況を調査するため
・提出議員 小川 幸英 ・賛成議員 林 茂、鳥海 典昭、西岡 恵子

採決結果

議員名	喜田 修	古川 義夫	安藝 広志	鳥海 典昭	徳元 敏行	西岡 恵子	西川 良夫	小川 幸英	林 茂	奥村 晴明	平石 賢治	佐野 慶一	永濱 茂樹	森 彪	結 果
議案名															
藍住町総合文化ホール建設にかかる事務の調査に関する決議	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	可決

○：賛成 ×：反対 /：退席

令和元年第5回臨時会

11月25日開催の臨時会において次の議案が上程され、可決しました。

- 職員の給与に関する条例の一部改正 可 決
- 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適性化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 可 決
- 藍住町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定 可 決

令和元年第6回臨時会

副町長の定数を2人から1人とする条例改正案が12月19日に可決したことを受け、高橋英夫町長が議決に異議があるとして20日に「再議(審議のやり直し)」を申し立て、23日に臨時会が招集されました。

採決の結果、賛成が出席議員(議長含む)の3分の2(9人)を下回り、条例改正案は否決となり、廃案になりました。

- 藍住町副町長の定数を定める条例の一部を改正することについての再議

採決結果

議員名	喜田 修	古川 義夫	安藝 広志	鳥海 典昭	徳元 敏行	西岡 恵子	西川 良夫	小川 幸英	林 茂	奥村 晴明	平石 賢治	佐野 慶一	永濱 茂樹	森 彪	結 果
議案名															
藍住町副町長の定数を定める条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	否決

○：賛成 ×：反対 /：退席



はやし しげる
林 茂 議員

下水道から合併浄化槽に
転換し町財政健全化
5年計画で合併浄化槽への転換を
進めていく

問 三好市、美馬市、阿波市の財政状況を比べると藍住町は財政力も高く、議員定数を18人に戻しても町財政に与える影響は2人分で700万円。この金額が捻出できない町財政か。

答 財政状況を他自治体と比較するのは難しく、本町も予算を許さない状況。
また、再議については、予算調整権者である首長に対して事前の協議がなかった点を理由にしており、議員報酬の額そのものを再議の理由にしているわけではない。

問 下水道の加入件数は593件。一般会計から2億円の繰入れがなければ、使用料を4倍に値上げが必要。値上げもできず半永久的に2億円繰入れしなければ下水道事業会計は破綻する。下水道をバラ色に描き推進してきた町の責任が問われるのではないのか。

答 現在5年間の合併浄化槽事業を進めている。来年度からの新たな5年計画では新設補助をやめ、その分を合併浄化槽の転換へ回し、汚水処理人口普及率を上げていきたい。

その他の問

○汚水処理事業について

敬老のつどいの記念品など改善を
予算の範囲内で選定していきたい



敬老のつどい

問 参加者から「立派なお金があるのに記念品をけるな。行きたくても行けない人には後で記念品を届けてほしい」など不満の声を多く聞くが、記念品の改善と児童生徒の演奏者にも記念品を渡すべきではないか。

答 記念品に係る支出は47万5500円で、昨年とほぼ同額。参加者から意見等あれば、予算の範囲内で選定していきたい。また、演奏者等への記念品については検討していく。

総合文化ホールは町民本位の運営を

総合文化ホールは幅広く貸し出しができる施設であり御理解いただきたい

問 こけら落としコンサート公演の参加者は、町民優先にすべき。

答 町内外1352名から応募があり、当選者の割合を9対1として抽せんを行い、町内543名、町外56名を当選とした。

問 雨天時、障がい者は車椅子で傘はさせないので、文化ホール左右のスロープにひさしをつけること。

答 今後検討していく。

問 会場費の減額免除制度をつくり老人会などが使いやすくすること。

答 減免制度は設けないことにしている。

問 文化ホール建設費と町民1人当たりのコストは幾らか。

答 町民1人当たりのコストは、約14万3681円。しかし、事業費の財源には交付金等が含まれており、町民1人当たりの負担とはならないと考えている。



おがわ ゆきひで 議員
小川 幸英

高齢化対策について 現在の取組の効果を検証しつつ 支援していく

問 65歳以上の人口と高齢者の単身世帯は何件あるか。

答 65歳以上の高齢者は、8380人。高齢者の単身世帯は525人。

問 認知症の実情と対策は。

答 町内では990人が認知症の判定を受けおり、初期段階から医療機関等と連携し、取組を進めている。

4地区で実施している、いきいき百歳体操、脳の健康教室、元気になる運動教室の参加人数と取組は。

答 参加者は、いきいきサロンが年間延べ約1000人、いきいき百歳体操が延べ1032名、脳の健康教室は414名。体操講習等や筋力アップ体操等を行っている。

問 町の検診において聴力の検診はしているか。

答 聴力は対象外。

その他の問

- 町内の舗装について
- 通学路の歩道について

子育て支援について 財政負担を見込み慎重に見きわめたい

問 保育所の待機児童数と来春の見込み数は。

答 待機児童は、約70名。今後、民間活力の導入、定員の弾力化もあわせ、努力していきたい。

問 板野町や北島町では保育所、幼稚園、小中学校の給食費を半額補助するなど子育て支援を積極的に進めているが、本町においても補助を検討しては。

答 財政負担増が見込まれるため、慎重に見きわめたい。

問 町内学校におけるアレルギー対応給食が必要な人数は。

答 町立保育所で7名、幼稚園11名、小学校135名、中学校71名。

問 児童館等の遊具の劣化がひどく危険な箇所がある。遊具を充実できないか。

答 不具合の連絡があるたびに補修対応をして改修している。

ごみ対策について 啓発活動に努める



問 ごみ減量化に向けた取組と過去5年間のごみ収集の推移。また焼却炉の耐用年数は何年か。

答 耐用年数は50年。過去5年間のごみ収集の推移については、別表参照。

問 ごみ集積場におけるガラスやイタチなどへの対策は。

答 侵入箇所に網目の小さなものを張ることで改善している。

問 高齢化や単身世帯のごみを集積場まで自分で持っていくことが難しい人が増えている。大型ごみも同じであるがどのように取り組んでいるか。

答 粗大ごみは、65歳以上の高齢者、身障者のみの世帯について、事前申込みが必要。通常のごみ出しについても、民生児童委員の確認により申請書の提出があれば、戸別に回収に伺う。

問 リサイクルされないプラスチックごみ対策は。

答 他の自治体の動向も見守りながら、検討していきたい。

5年間のごみ収集の推移

		年度	H26	H27	H28	H29	H30
家庭系 [t/年]	処理量	燃やせるごみ	5,992	5,965	5,808	5,869	5,820
		廃プラスチック類	1,050	997	993	924	967
		粗大ごみ	184	196	207	204	185
		その他	1,431	1,392	1,324	1,267	1,302
		家庭系ごみ計	8,657	8,550	8,332	8,264	8,274
事業系 [t/年]	事業系ごみ	2,036	1,990	2,055	1,964	2,039	



小動物の侵入防止のため
ネットが張られたごみ集積所

その他の
質問

携帯電話・スマートフォン被害への取組

家庭啓発を進め学校での指導も充実させていく



にしおか けいこ 議員
西岡 恵子

○地球温暖化対策への取組について
○子育て世代包括支援センター開設について

問 子供を取り巻くネット環境の急激な変化のなか、スマートフォン（スマホ）依存やSNSでの誘拐容疑事件・性犯罪に巻き込まれる事例が次々おこり、徳島県においても中高生の被害が急増し、県警によると、中学生は2017年2人だったのが本年10月末現在21人で10倍。町の対策を尋ねます。

答 小学校5年生から中学生までは、少なくとも年1回外部の専門家による指導や、教師による指導を繰り返している。保護者啓発としては、各校とも文書の配布や講演会など、様々な機会を通じて注意喚起を行っている。

男女共同参画社会の実現

町民への周知と理解が得られるように努める

問 本町の特徴、「固定的な性別役割分担意識」への取組と男性の育児休業の取得状況について、また、この時期はストップ！DV強化推進月間、親しい関係での暴力のない社会を目指し様々な啓発活動が実施されています。法務省の犯罪白書では、DVの検挙数は、2002年比10倍超と公表、DVのあるところには児童虐待も疑われます。

答 DVや性暴力・性差別のない社会づくりが求められています。本町の現状、加害者・被害者にならない取組について尋ねます。

問 男女共同参画プランを策定し推進しているが、解決すべき課題が多く残されており、町民への周知と理解が得られるように努める。

答 また、今後町として関係機関と連携を図り、DV被害者の方が相談しやすい体制づくりや迅速な対応に努め、被害の拡大化、深刻化を防いでいきたい。

なお、本町の男性職員で育児休業を取得した者はいない。

藍関連事業への今後の取組

関係機関と連携をしながら藍をPRしていく



問 日本遺産認定のもと、阿波藍の文化伝承・観光振興等での情報発信の進捗状況や、「インディゴコレクション2019」、また、藍染め普及推進事業として、藍の栽培から染の完成は、地域おこし協力隊のおかげです。

答 今後の藍関連事業への取組について尋ねます。

問 まず、日本遺産事業座の継続、構成文化財の開設板の整備、ブランド力強化のための映像作成等を行う予定。

答 次に、インディゴコレクション2019については、プロによるヘアメイクや、モデル自らが作成した衣装等を身につけるなど、藍の魅力を大いに発信できるものと考えている。

また、去年地域おこし協力隊が完成させた藍住町産菜は、町内小学校での藍の学習等に活用していきたい。



インディゴコレクション2019

監査委員(非常勤特別職)の待遇について

他の自治体の状況も勘案しながら判断する



とくもと 徳元 としゆき 敏行 議員

問

監査委員の任命及び報酬決定について、

町の規則や条例はありますか。

答

監査委員の報酬については、「特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例」の中で定められている。

問

所有する資格に対応する報酬・待遇の規定はあるのですか。

答

「特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例」では、監査委員を初め教育委員会委員や選挙管理委員、固定資産評価審査委員会委員など、様々な特別職の報酬を定めている。それぞれの報酬額は業務によって異なるが、国家資格や免許による報酬の差というのは設けていない。



問

現在の報酬額はいつ頃決めたものですか。

現在の町の決算状況が安定して好結果なのは石川前町長の努力のあらわれだろうと思いますが、10年先に安定した財政状況を維持するには、公認会計士の監査報告は町政判断の重要な資料となると考えます。監査委員の職責の重要性を鑑みて、資格等に依じた報酬の設定区分をするというような改定を是非お願いしたい。

答

特別職、非常勤の報酬というものは、「特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例」の中で、全体の中で、またそれぞれの職種その他の自治体の状況も勘案しながら判断するものと考えているため、御理解いただきたい。



令和元年度 町村監査委員全国研修会



令和元年度 町村監査功労者表彰式

その他の
質問

コミュニティバス運行

2か年で地域公共交通の在り方について検討を行う



ながはま しげき
永濱 茂樹 議員

○新年度に備え、公共施設の安全対策（カーブミラー、防犯灯、歩道のライン引き）

問 社会全体の高齢者事故多発につき運転免許証が返納されている折、藍住町議員として北海道の音更町役場に町長同伴でバスについて視察研修を行った。

答 研修内容を参考に、藍住町のコミュニティバス運行について、進捗状況は、

問 2か年で地域公共交通の在り方について検討を行うこととしており、今年度は専門のコンサルタントを入れ、基礎条件の資料収集と分析を行っている。

次の段階としては、町内全域を対象に、交通サービースに関するニーズ調査と既存の公共交通の利用実態調査を行う予定。

企業誘致周知情報対策

国や県と連携しながら取り組んでいく

問 藍住町の将来の展望を勘案するとき、人口並びに町内の有能な人材の育成と確保が課題である。

11月30日の徳島新聞では、「飯泉嘉門知事との懇談会で、県内の大学長らから若者の県内定着に向けた取組を求める声が相次いだ。」と掲載。

いい企業は、場所を選ぶ。敷地面積確保、環境、排水面等、様々な条件が必要。地域の現状も十分把握され企業誘致に努力していただきたい。

若者の町内定着には、安定した企業が一番。

答 宅地化が著しく進んだ現在では、大規模工場が操業できる広大な土地は町内に見当たらずに乏しい。

一方で、町内の商業地化が著しく、第3次産業就業者数は過去30年間で倍増している。このことを踏まえ、国、県と連携しながら、企業やサテライトオフィスの誘致を含めた仕事の確保やUIJターンなどの移住交流人口の拡大に向けた取組を審議し、取りまとめたい。

総合文化ホール開館に備え周辺対策、町民の声

利用者に安心して楽しんでいただける環境も必要



総合文化ホール西側身体障がい者用エリア

問 文化ホール開館式典、こけら落としは盛大に開催され、大変喜ばれていたが、反面、駐車場問題。高齢者や障がい者の方々より、「西側の緑地広場を整理して、近くに駐車場を造ってほしい。高齢者は足が痛い、雨の日等傘をさしては無理、町民のための文化ホール。」との声があった。駐車場の整備を要請する。

答 緑地広場は緑の広場の代替えとして再整備をしたもので、人と車両の分離を図っている。

また、中央クリンステーション前に身体障がい者用駐車場や屋根を造っており、雨天時等はそちらを利用していただきたい。

委員会構成

令和元年第4回臨時会において、藍住町議会議員の定数を定める条例の一部改正可決に係る諸問題の調査のため新たに設置されました。

条例可決にかかる諸問題の特別委員会

委員長	徳元 敏行
副委員長	鳥海 典昭
委員	喜田 修
委員	古川 義夫
委員	安藝 広志
委員	西岡 恵子
委員	西川 良夫
委員	小川 幸英
委員	林 茂
委員	奥村 晴明
委員	平石 賢治
委員	佐野 慶一
委員	永瀆 茂樹

総合文化ホール特別委員会

11月15日に開催された第4回臨時会において、藍住町総合文化ホール建設にかかる事務の調査に関する決議が可決され、当委員会に100条調査権等が委任されました。これを受け、文化ホール建設の過程で出てきたごみの処理や、当初約38億円とされた建設費が約50億円になった経緯について調べるため、12月2日、3日、5日、24日と1月20日に証人喚問を行いました。

喜田 修議員に永年功労者表彰



11月13日、第63回町村議会議長会全国大会において、30年以上の永きにわたり町村議会議員として議会活動に勤しみ、地域社会の振興発展及び住民福祉の向上に尽力されたとして表彰されました。

喜田 修 議員

永瀆茂樹副議長・古川義夫議員に感謝状

12月19日、藍住町議会議員に対する感謝状贈呈式が行われました。本町議会議員として20年にわたり精励され、議長及び副議長の重職を歴任されるなど、議会の円滑な運営と町勢発展に貢献されたとして、町長より感謝状が贈呈されました。



町村議会議長全国大会に参加

11月13日、町村議会議長全国大会が東京都（NHKホール）で開催され、森彪議長が参加。大会では、地方議員のなり手不足が深刻化しているとして、国に議会の機能強化及び人材確保のための環境整備策を求める重点要望が採択されました。



板野郡町議会議員研修会に参加

11月28日に板野郡町議会議員研修会が上板町(技の館)で開催され、本町議会から10名の議員が参加しました。川端順氏より「夢破れた先にも」と題して、講演が行われました。



定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は3月です。

(定例会日程についてはホームページに掲載予定です。そちらをごらんください。)

次号は5月に発行します。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政・議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
- ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③ 字数は500字以内。
- ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

わたしの一言

徳命 阿部 タケコ 氏

～地域防災について～

毎年のようにどこかで大きな災害が聞こえてきます。いざという時の備えを常日頃からしておかなければと考えます。私の暮らす徳命地区は1997年に「みなでやらんで会」の名称で自治会を組織し、2002年「徳命東・西自治会」に改称、2011年の東日本大震災を受けて防災組織への検討を進め、2013年(平成25年)「徳命東・西自治会自主防災会」に変更し現在に至っております。全会員ワンチームで地域力を高め防災・減災と、被災後の速やかな復旧を成し遂げなければなりません。私も救命救急の講習で心臓マッサージの手ほどき・AED・ロープワークなど、数々の体験ができました。

私が参加させてもらっている全国食生活改善推進員協議会「藍愛グループ」でも防災食メニューを知ってもらうための活動をお手伝いしています。地域ぐるみの諸活動に感謝しつつ、いざという時に自分の足で動けるよう健康に気をつけていきたいと思えます。



町民の声

春日 平野 治平 氏

雲一つない澄み渡る秋空、菊花香る好日和、朝日に浮きあがる濃い藍色に彩られた藍住町総合文化ホールの勇姿の殿堂、県下一を誇るにふさわしい立派な建物に目をみはるばかりです。そして、最初の文化祭が11月8日、9日、10日と挙行されて、14団体による立派な作品が新築の香りとけ込んで一層輝いて参観者に喜んでいただき大いに盛り上がりました。今までにない人出だったと思います。

人が出てくれることは、車といえば駐車場が大切な役目、広いと思われた駐車も満杯の状態。それをするとき、隣に居合わせた人との雑談の中であまりにも広い芝生が玄関前の一番近い場所を占領してしまっ、これが設計者の言い分かもしれないけれども、利用する町民にとっては、ましてや障がい者、高齢者の身になると少しでも近い駐車場がたまらなく欲しいものです。出来上がったばかりの施設、今すぐどうこうはないにしても、私の小さな一言として書いてみます。

- この度移動された友好都市河北町との紅藍の碑がぼつんと1人寂しそうです。玄関前の芝生を3分の1を残して中心に碑を建て、その後に町の木、楠を女性センター横から移植。
- 芝生の3分の2以上を駐車場にする。

文化ホールとともに藍住町の発展を祈ります。



委員	委員	副委員長	委員長
徳元敏行	安藝広志	林岡恵子	西岡恵子

議会だより編集委員会

次回101号は、新編集委員が担当します。
(徳元 敏行)

今回、読者から投稿がありました。大変貴重でありがたいことだと感謝しております。今後投稿が増えることを期待してあります。公序良俗に反しない、特定の思想にとらわれない、自由な投稿をお願いします。

編集後記
編集委員として4年間わかりやすい紙面づくりに努力してきました。議会だより、今期最後の編集は記念すべき第100号になります。議会だよりの歩みとして、表紙と主な出来事を掲載しました。表紙を飾った子供達は今何をしているのかな、藍住町に帰ってきて活躍することを期待しております。